|  |
| --- |
| 2022【シナリオ】様式1　**提案**※３、４枚程度でわかりやすく記述してください。フォントは**10.5ポイント以上**を厳守してください。グレー網がけ部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。 |
| プロジェクト名 | プロジェクト名（e-Radに入力した研究開発課題名）を記入(30字程度)　 |
| 研究開発期間 | （　　　）年間（最大2年間） |
| 研究代表者氏名 | （フリガナ） |  |
| （漢字等） |  |
| 生年月日（西暦） |  |
| 所属機関 |  |
| 部局 |  |
| 職名 |  |
| 住所 | 〒 |
| 電話番号 |  |
| 緊急連絡先 | （携帯電話など） |
| E-mail |  |
| 協働実施者氏名 | （フリガナ） |  |
| （漢字等） |  |
| 生年月日（西暦） |  |
| 所属機関 |  |
| 部局 |  |
| 職名 |  |
| 住所 | 〒 |
| 電話番号 |  |
| 緊急連絡先 | （携帯電話など） |
| E-mail |  |
| 研究開発活動 | 社会課題・目的 | 各項目についてそれぞれ200字程度にまとめてください。1. 解決しようとする社会課題の概略
2. SDGｓ達成のビジョン（目指すべき姿）

特に優先するSDGsゴールを記載して下さい（複数可）。1. ビジョン達成に向けた共創の重要性の認識・共有

ビジョン達成に向け、共創の重要性をステークホルダー間でどのように認識・共有しているか記載して下さい。特に、可能性試験を実施する地域との関係性について記載してください。1. 対象とする特定の地域の社会課題やその検討状況

当該地域で社会課題が生じている原因や背景について、現在検討されている範囲でわかっていることを記載して下さい。1. プロジェクト実施地域として対象地域が適切である理由

大学等の所在地であることや、先行して取り組みを実施しているなどの理由の他に、プロジェクト実施地域が「可能性試験の実施地域」や「他地域展開に向けたモデル地域」としての有効である理由を記載して下さい。1. 提案される技術シーズを用いての社会課題への取り組みを希望する理由

主に『社会課題に取り組む当事者の代表』が記載して下さい。 |
| （７）キーワード（自由記入） |
| 方法 | 期間中の目標と達成方法 | （１）目標とその達成方法の概要（基になる研究開発成果は様式2参照）・研究開発支援を受ける期間中の目標を記載してください。・目標の達成方法について、具体的な実施項目と実施項目毎の期間・対象（人・組織・地域等）を箇条書きで示してください。・本提案以外で進行している社会課題解決に向けた取り組みの有無、他で進行する取り組みがある場合はそれらと比較した本提案の基となる研究開発成果の差異を説明してください。・可能性試験の実施計画を具体的に示してください。（規模、参画者、実施場所等）・全体で300字程度にまとめてください。 |
| 資金 | 総額 | （千円） | 初年度(2022年度) | （千円） |
| （２）研究開発費の主な使途と金額（千円）主な業務項目別に概算金額を記載してください。 |
| 効果 | （１）研究開発活動の対象・受益者社会課題の解決によってどのような便益が誰にもたらされるか、便益を享受する人々から社会課題解決のためにどのような協力を得ることを想定しているかを100字程度にまとめて記述してください。 |
| （２）国内の他の地域への展開プロジェクト終了後に国内の他の地域へ展開するために、研究開発期間から取り組む事を、100字程度にまとめて記載して下さい。 |
| （３）プロジェクト終了後の継続性プロジェクト終了後、どのように研究開発活動を継続するのかを簡潔に記載してください。 |
| （４）本プログラムが果たす役割本プログラムの支援がない場合の問題について簡潔に書いてください。 |
| 協力組織 | プロジェクトに協力する関与者・組織を記載してください。 |
| 若手・女性の研究者等の積極的参画社会課題解決の受益者は非常に多様であるため、研究開発プロジェクトの実施者にも若手研究者や女性研究者等多様な実施者が参加し、ボトルネックの特定や社会実態に即した解決策の検討を行う事が期待されます。本提案において、多様性や人材育成などの観点から、若手や女性の研究者・実施者の積極的参画にむけた工夫があれば、その内容を記述してください。 |
| 新型コロナウイルス感染症拡大によって生じている社会課題の解決への貢献新型コロナウイルス感染症の拡大によって多くの社会課題が顕在化しており、その解決への貢献も期待されます。プロジェクト実施により、貢献できる要素があれば、その内容を記載してください。 |
| 【備考】 |

### 2022【シナリオ】様式2　**研究開発プロジェクトの基となる技術シーズ**

* １つの技術シーズにつき本ページを含め２枚以内にまとめて記述してください。フォントは10.5ポイント以上を厳守してください。
* 複数の技術シーズがある場合は重要なものから順に３つ、計6枚まで記載してください。
* 技術シーズが既にあることが応募要件となっていますので簡潔かつわかりやすく記載してください。

グレー網がけ部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 技術シーズの名称（概要、課題名） |  |
| 技術シーズ開発者 | 研究者番号 |  |
| 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 研究分野 |  |
| 提供を受けた公的資金名 |  |
| 報告書、URLなど | ・URLが無い場合は、掲載された雑誌、特許、本などを明記してください。・別途、コピー等の送付をお願いする場合もあります。 |
| 知的財産権の有無 | ・出願番号などを記入してください。 |
| 使用許諾権 | ・技術シーズの所有者や特許権者から、研究開発活動に関する使用許諾を得ているか、まだ得ていない場合はその見込みや進捗状況を記載してください。 |
| 参考文献 |  |
| 研究代表者(協働実施者)との関係 |  |
| 技術シーズの概要 | ・技術シーズの概要について記述してください。＜ポイント＞・専門家以外にも分かるように平易な文章で記述してください。・必要に応じて、図表を用いても構いません。・プロトタイプの試作やフィールドテストの経験があれば記載してください。 |

### 2022【シナリオ】様式3.1　**研究開発プロジェクトの計画（１）**

**1. 計画表**※1枚以内にまとめて記載してください。

グレー網がけ部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究開発項目** | **初年度**(2022年10月～2023年3月) | **2年度**(2023年4月～2024年3月) | **最終年度**(2024年４月～2024年９月) | **以降****研究開発期間終了後の展開** |
| **大項目A****中項目A－１**○○グループ**中項目A－２**△△グループ |  |  |  |  | シナリオ作成 |  |
| **大項目B****中項目B－１**○○グループ**中項目B－２**△△グループ |  |  |  |  |  |  |
| **大項目C****中項目C－１**○○グループ**中項目C－２**△△グループ |  |  |  |  |  |  |
| **大項目D****中項目D－１**○○グループ**中項目D－２**△△グループ |  |  |  |  |  |  |

年次報告

（次年度計画）

終了報告書

（シナリオ）

年次報告

（次年度計画）

計画表中の記載は例示です。

これまでの経緯や背景と研究開発支援を受ける期間中の目標も踏まえて、上記の計画表（概要）を作成してください。大項目は、「様式１ 提案」の「期間中の目標と達成」に記載した実施項目と同じにしてください。

＜ポイント＞

* PDCA（特にC（Check）の時期・観点・方法等）、KPI（効果測定のための分かりやすい指標）を考慮して、主となる計画を記述してください。
* 四半期、上下期、年度などの区切りよりも、活動の進捗を考慮してスケジュールを作成してください。
* シナリオ創出フェーズ期間中に重点をおいて具体的なマイルストーン（時期、KPIなど）を記入してください。また、SDGｓの達成のビジョンをイメージし、研究開発期間終了後も見据えた計画としてください。
* 研究開発開始後（2022年10月以降）速やかにプログラム総括による研究開発実施場所訪問（サイトビジット）を行います。プログラム総括等によるサイトビジット（年１～２回程度）を希望する時期を計画表に記載してください。

　なお、新型コロナウイルス感染症拡大や自然災害など、やむを得ない事由が生じた場合は、サイトビジットの延期やオンライン開催などの代替手段によって実施されることがあります。

### 2022【シナリオ】様式3. 1　**研究開発プロジェクトの計画（１）**

グレー網がけ部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。

**２．計画表の説明**

※**２枚以内にまとめて記述**してください。**フォントは10.5ポイント以上**を厳守してください。

* 様式3.1研究開発プロジェクトの計画（１）の１．計画表で示した実施項目（大項目および中項目）について、資金計画との整合性を読み取れるように、実施内容を具体的に記載してください。
* 各実施項目について、研究開発に取り組む主体（「研究代表者」、「協働実施者」、「コーディネーター」、「その他（氏名）」、など）を記載してください。
* シナリオの創出とマイルストーンについても、時期を明記し、できるだけ定量的に説明してください。なお、ソリューション創出フェーズへの応募を予定されている場合は、その旨、記載してください。
* プロジェクト終了後も具体的な担い手（『社会課題に取り組む当事者の代表』等）が事業を継続できる研究開発計画・体制も記述してください。また、提案段階で不足している研究部門や社会実装の主体があれば、いつまでにどのような個人・組織との連携を目指すのか、あわせて記載してください。
* 本提案により創出される価値について明確にしたうえで、具体的な到達点と、そこに至るまでのPDCAやKPI等を記述してください。

### 2022【シナリオ】様式3. 2　**研究開発プロジェクトの計画（２）**

グレー網がけ部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。 **１．資金計画**

※下記の表と主要費用項目の説明をあわせて**1枚以内にまとめて記載**してください。

※主要費用項目の説明の**フォントは10.5ポイント以上**を厳守してください。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 単位：千円

| 研究開発費(直接経費) | 初年度(2022年10月～2023年3月) | 2年度(2023年4月～2024年3月) | 最終年度(2024年4月～2024年9月) | 合計 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 物品費 |  |  |  |  |
| 旅費 |  |  |  |  |
| 人件費・謝金 |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |

**主要費用項目の説明：**

* 主要費用項目の使途目的を説明してください（単位：千円）。特に全経費に占める割合の大きいものは研究開発活動上の必要性がわかるように記載してください。
* 2022年度はその研究開発期間に応じて研究開発費を配分してください。なお、研究開発期間は2024年9月までです。
* 間接経費は、原則直接経費の30％を上限として措置されます。本表への記載は不要です。
* 各費目において支出可能な経費の詳細は、「5.5 研究開発費」をご参照ください。

（注意）シナリオ創出フェーズは、直接経費が、400～600万円程度／年（12ヶ月）です。400万円／年を希望される場合は、初年度（約200万円）、2年度（約400万円）、最終年度は約200万円となり2年間（24ヶ月）で約800万円となるよう計画してください。また、研究開発費は提案内容・研究開発計画および採択方針に応じて調整を行う場合があります。

2022【シナリオ】様式3. 2　**研究開発プロジェクトの計画（２）**※２．研究開発費（直接経費）の内訳と３．特記事項をあわせて**1枚以内にまとめて記載**してください。

※３．特記事項の**フォントは10.5ポイント以上**を厳守してください。

**２．研究開発費（直接経費）の内訳（2022年度）**

| 研究機関名 | 費目 | 品名 | 積算根拠（単価・個数等） | 概算額（千円） |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究機関名 | 物品費旅費人件費・謝金その他 | ソフトウェア国内出張技術補助 | @８0,000×1個@20,000×10回@1,000円/時間×6時間/日×20日/月×6ケ月 | 80200720 |
| 研究機関名 | 物品費旅費人件費・謝金その他 | ソフトウェア国内出張技術補助 | @80,000×1個@20,000×10回@1,000円/時間×6時間/日×20日/月×6ケ月 | 80200720 |

2022年度（6ヶ月分）の主な使途について、研究開発費の内訳をJSTからの研究費の配分を必要とする参画機関（契約予定機関）毎に記入してください。

※JSTでは提案課題の選考と並行して研究契約締結のための事前調査を実施しています。本項に2022年度の契約予定機関として記載の無かった機関とも採択後の契約締結は可能ですが、事前調査が研究開始に間に合わず、当該機関との契約締結が遅れる可能性があります。なお、契約のための事前調査の結果は、提案課題の選考の経過・結果に影響を与えるものではありません。

**３．特記事項**

* その他、費用面で特記すべき項目を記入してください。

### 2022【シナリオ】様式4　**研究開発プロジェクトの組織体制**

グレー網がけ部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。 **１．研究代表者、協働実施者**

※2枚以内にまとめて記載してください。フォントは**10.5ポイント以上**を厳守してください。

**（１）研究代表者　氏名：**

**研究代表者の略歴：**・研究開発を推進する上で必要十分な経験を有するかの判断材料とします。

**（２）協働実施者　氏名：**

**協働実施者の略歴：**・研究開発を推進する上で必要十分な経験を有するかの判断材料とします。

**（３）研究代表者と協働実施者のこれまでの関係**

・研究代表者と協働実施者がこれまで共同で活動した実績などを記載してください。

### 2022【シナリオ】様式4　**研究開発プロジェクトの組織体制**

グレー網がけ部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。

**２．研究開発プロジェクト組織図**

※1枚以内にまとめて記載してください。



* 上の研究開発プロジェクト組織図を参考にプロジェクト全体の組織図を作成してください。
* 「第5章 社会技術研究開発における研究開発の推進等について」、「第8章 提案公募Q&A」も参照ください。
* 研究代表者が協働実施者を兼務する場合は、該当グループは削除してください。兼務する場合は「4.5.2 提案者の要件」「第8章 提案公募Q&A」も参照ください。

2022【シナリオ】様式4　**研究開発プロジェクトの組織体制**

**３．研究開発組織の位置づけ**

※1枚以内にまとめて記載してください。フォントは**10.5ポイント以上**を厳守してください。

* 研究開発に関わる全体の組織の中での各グループ、組織の位置づけを説明してください。
* 海外の機関に所属する方が、海外の機関を拠点に主たる実施者としてプロジェクトに参加される場合、その理由を記載してください（「5.10 海外の機関に所属する方が主たる実施者として参画する場合」「第8章 提案公募Q&A」参照）。
* 地域における対話・協働を行うステークホルダーとの関係性構築と活動状況についても説明してください。

### 2022【シナリオ】様式5　**他制度での助成等**

グレー網がけ部分は記入上の注意事項です。提出の際には削除してください。

1. **他制度で受けている助成**
* 現在受けている、あるいは申請中の国の競争的資金制度やその他の研究助成等（民間財団、海外機関を含む）について、研究課題ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォートを記入してください。
* 申請中のものについては、課題名の欄に「申請中」と明記してください。申請結果が決定され、受給開始前のものについて、「受給予定」と明記してください。

**研究代表者（提案者）名：**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **制度名** | **課題名(プロジェクト名)** | **期間****（年度）** | **研究開発費****（直接経費）** | **役割****（代表/分担）** | **ｴﾌｫ‐ﾄ（％）** |
| SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（シナリオ創出フェーズ） | （本提案） | 2022 ～2024 | 期間全体 | 7,000千円 | 研究代表者 | 30 |
| 2022年度 | 1,500千円 |
| 2023年度 | 4,000千円 |
| 2024年度 | 1,500千円 |
| 科学研究費補助金基盤研究(B) | ○○○○○○○○○○○○ | 2022～2024 | 期間全体 | 6,000千円 | 代表 | 10 |
| 2022年度 | 2,000千円 |
| 2023年度 | 2,000千円 |
| 2024年度 | 2,000千円 |
| （申請中）○○財団助成金事業 | ○○○○○○○○○○○○ | 2022 | 期間全体 | 1,000千円 | 分担 | 5 |
| 2022年度 | 1,000千円 |
| 2023年度 | 0千円 |
| 2024年度 | 0千円 |

**協働実施者（提案者）名：**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **制度名** | **課題名(プロジェクト名)** | **期間****（年度）** | **研究開発費****（直接経費）** | **役割****（代表/分担）** | **ｴﾌｫ‐ﾄ（％）** |
| SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（シナリオ創出フェーズ） | （本提案） | 2022～2024 | 期間全体 | 3,000千円 | 協働実施者 | 30 |
| 2022年度 | 1,000千円 |
| 2023年度 | 1,000千円 |
| 2024年度 | 1,000千円 |
| 科学研究費補助金基盤研究(B) | ○○○○○○○○○○○○ | 2022～2024 | 期間全体 | 6,000千円 | 代表 | 10 |
| 2022年度 | 2,000千円 |
| 2023年度 | 2,000千円 |
| 2024年度 | 2,000千円 |
| （申請中）○○財団助成金事業 | ○○○○○○○○○○○○ | 2022～2023 | 期間全体 | 1,000千円 | 分担 | 5 |
| 2022年度 | 700千円 |
| 2023年度 | 300千円 |

1. **他制度で受けている助成と本提案の位置づけ**
* 採択中、あるいは申請中の他制度の助成と本プログラムとの関係、配分などを説明してください。
* 本プログラムと関係があれば、中断された助成も含めて記入してください。
* プログラム名、制度名、代表／分担などの役割を記入してください。
* メンバーが重複する場合には、その旨も記入してください。